



●ガバナー 源新 和彦 ●会長 松田 義武 ●幹事 石橋 一男 ●コミュニケーション委員長 久保田 幸造

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2158 回 例会 記録

《ガバナー公式訪問例会》

2020 年 10 月 1 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1590

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか 橋本修職業奉仕委員長



《ゲスト》

R I 第 2830 地区ガバナー 源新和彦 様
南グループガバナー補佐 築館智大 様
R I 第 2830 地区副幹事長 久保隆明 様

《会長要件》松田会長



本日はガバナー公式訪問で源新ガバナーには早くから会長幹事面談、クラブ協議会とありがとうございました。引き続きよろしくお願ひいたします。

《入会式》

《新会員紹介》スポンサー石橋会員

新会員のご紹介をいたします。出貝友吾さん、昭和 53 年 12 月 16 日生まれ、株式会社 E-style というエクステリア工事の会社を営んでいます。高校時代は野球部に所属していたということです。うちの大事なお客様です。あとは本人から聞いてもらいたいです、確か西村さんが会長の時にクリスマス家族会に来ていただきました。



《新会員挨拶》出貝友吾会員



只今ご紹介にあずかりました出貝友吾と申します。よろしくお願ひいたします。先程石橋さんから話がありましたが株式会社 E-style でエクステリア工事の方をやっています。会社を立ち上げてから 7 年目です。代表を務めておりますのでよろしくお願ひいたします。趣味と言ってもあまりありませんが如果说野球観戦かなと、私自身も野球をやっていたので、あとは会社を立ち上げたばかりで、7 年経っていますが仕事の方がちょっと忙しいので仕事が趣味と言うような感じでやらせていただいておりますのでよろしくお願ひいたします。

《出席報告》松橋委員長



正会員数 35 名。本日の出席は免除会員 7 名を含む 26 名。出席率は 84% です。

《バッジ伝達》



源新ガバナーよりバッジ伝達

《幹事報告》石橋幹事



- ・英語版のロータリーが届いておりますのでご覧になりたい方は事務局まで。
- ・例会変更のお知らせ、八戸 RC10 月 21 日 (水) 日時変更、八戸東 RC10 月 30 日 (金) 任意休会、八戸北 RC10 月 27 日 (火) 時間変更です。

《ニコニコボックス》慶徳委員

源新ガバナー：ポリオプラス

松田会長：源新ガバナー、築館ガバナー補佐、久保地区副幹事長、本日はようこそお出で下さいました。出貝さん入会おめでとうございます。



石橋幹事：源新ガバナー、築館ガバナー補佐、久保地区副幹事長、本日はご指導よろしくお願ひいたします。出貝さん入会おめでとうございます。

橋本精二会員：源新ガバナーようこ、(築館様、久保様本日は大変ご苦勞様です。)よろしくお願ひいたします。

黒田会員：ガバナーにはご指導ありがとうございます。

赤穂会員：源新ガバナー、築館ガバナー補佐、久保副幹事長ようこそ。

小原会員：源新ガバナー、本日はよろしくお願いたします。

長嶺会員：源新ガバナー、築館 AG、久保副地区幹事長、ようこそ八戸南 RC へお越しく下さいましてありがとうございます。

熊谷会員：源新ガバナーようこそ!!

米内会員：源新ガバナー、築館ガバナー補佐、久保地区副幹事長、ようこそ。

三川会員：源新ガバナーようこそ、本日はよろしくお願いたします。

伊藤会員：源新ガバナー公式訪問ありがとうございます。出貝さん入会おめでとうございます。

清川会員：源新ガバナーよろしくお願いたします。

吉田立盛会員：源新ガバナーようこそ八戸南ロータリークラブへお越しく下さいました。今日はよろしくお願いたします。

西村会員：出貝さん入会おめでとうございます。

吉田賢治会員：源新ガバナー、築館ガバナー補佐、久保副幹事長、ようこそ南 RC へ。出貝新会員これからよろしくお願いたします。

西尾会員：出貝さん入会おめでとうございます。

橋本修会員：源新様、築館様、久保様、ありがとうございます。

慶徳会員：出貝さん入会おめでとうございます。

出貝会員：新会員の出貝です。どうぞよろしくお願い致します。

《ガバナー講話》

R I D2830 ガバナー 源新和彦 様



この1月にアメリカのロサンゼルス近くにあるサンディエゴで国際協議会が行われましてそこで1週間研修を受けてまいりましたが、最終日、修了式の終わった後に世界中から集まった約500名のガバナーはホルガー・クナーク会長から手紙を託されました。その手紙は何かと言いますと、皆様のもとへ公式訪問でお邪魔したら少なくともこの4つの事はきちんとお話しして説明して来て下さいという指令でございました。今日はそれに基づいてお話をしたいと思っております。その前に7月1日にホルガー・クナーク会長が日本のガバナー34人にメッセージビデオを送ってくれました。その内容をご覧いただくとホルガー・クナーク会長のお考えが良くお分かりになると思いますので7分間ご覧いただきたいと思っております。(ビデオメッセージ)いかがでしたでしょうか、鼻眼鏡がホルガー・クナーク会長のトレードマークで寝ているとき以外はずっと鼻眼鏡をしています。非常に温厚で素朴な方です。

それではホルガー・クナーク会長の皆様へのお願い事項につきましてご説明をしたいと思っておりますがその前に今年のR Iのテーマロゴの意味についてちょっと考えてみたいと思っております。「ロータリーは機会の扉を開く」ですから扉が3枚開いているのだと単純に見ることもできますが、実はこの色に意味がありまして一番右の色が「ロータリーロイヤルブルー」で真ん中が「ロータリーゴールド」で国際ロー

タリーのテーマカラーになっています。では左側の赤っぽいのは何かと言いますとクランベリーという色です。クランベリーとは何かと言いますとロータリーアクトクラブのテーマカラーになります。つまり、今日クラブ協議会で皆さんにご説明を申し上げましたように、ロータリーアクトクラブはロータリークラブと並んでR Iの加盟クラブになったこと、今まではロータリークラブの従属的な地位にあったものが独立したクラブとしてR Iに認められたということで様々な変更がなされたというお話をしましたが、国際ロータリーはロータリーアクトクラブに対しても新しい「機会の扉」を開いたのであります。先程ホルガー・クナーク会長のスピーチにありましたようにロータリーアクトクラブと協力して世界中のあらゆる地域で新たな「機会の扉」を開きましょうということを意味していると、私は考えています。ホルガー・クナーク会長が言ったわけではありませんが私たちの同期のガバナーはほぼ同じような考えをしております。

それでは早速ですがホルガー・クナーク会長の強調事項の1番目、「地区は、新しい革新的なクラブを作ることに積極的に取り組みます。そのためには皆様からのご支援が必要になります。皆様はまた、衛星クラブや地域社会を基盤とするロータリーアクトクラブを立ち上げることで、参加者の基盤を広げることにご貢献できます。」要は皆さんに「新しい革新的なクラブ」を作っていただきたいというお願いであります。そのクラブとはどんなクラブなのかと言いますと、今日皆さんのお手元に渡してあります「クラブのモデル」というプリントをご覧頂きたいと思っております。現在R Iではロータリークラブのモデルをここにありますように8つの類型に分類してあります。一番最初からご説明しますと「従来型ロータリークラブ」これは皆様の今のクラブ、2830地区に41あるクラブの事でありまして。こういったクラブを立ち上げようと言いますと20名の会員を集め設立ミーティングをして、そのうえで認証請求をR Iにして半年後、8か月後に認証が下りるという時間もかかる形になります。最近日本国内ではあまり新しいクラブは出来ておりません。2番目が「衛星クラブ」これは従来型ロータリークラブによって提唱されたロータリークラブで、独自の例会、プロジェクト、細則を持つことが出来ます。単純に言うと皆様の子クラブになります。そしてこのクラブは、有難いことに8人が集まればできます。そしてR Iへの認証請求はいりません。親クラブが、八戸南クラブさんが〇〇衛星クラブ設置申請書というのをR Iにあげると、すぐその日から衛星クラブとしての活動ができることとなります。3番目の「Eクラブ」これは主にネットによってオンラインで例会をやるクラブです。このクラブも最低の創立会員は20名になります。Eクラブのメリットは会場を借りたり食事をしないので安く参加できる、そしてどこからでも参加できるというメリットが会員にはあります。4番目の「パスポートクラブ」これは自分の所属するクラブの例会には限られた回数だけ出席すれば良いというクラブです。これも最低限20名の会員が必要ですが、具体的にどういったクラブかと申しますと、もし八戸南

クラブさんがパスポートクラブであるならば皆さんは細則で決めた最低限の回数、6回なら6回だけこちらのクラブの例会に出席すればよい、では後の42回はどうするのかという、よそのクラブを回することで、よそのクラブへ出席することで自らのクラブの出席として認めますというクラブです。これも20名の最低会員が必要になりますが、会員のメリットは何かと言いますと、出張が多い人、旅行が多い人、一つの所に余りと止まらない人にとってはパスポートクラブというのはメリットがあって欧米ではもう、数カ所出来ているそうです。5番目の「法人クラブ」この法人クラブというのは一つの事業所の中で20名の会員を集めて新しいロータリークラブを作る、つまり大都市圏の大企業とか自動車工場といった数百人、数千人働いている事業所で20名の会員を集めて新しいロータリークラブを作ると法人クラブという区分になります。法人クラブのメリットは何かというと同じ事業所にいる人たちが集まるので気心が知れているので集まりやすいということ、会社の会議室とか食堂で例会が出来ますから低コストでロータリー活動に参加できるというメリットがあります。6つ目の「活動分野に基づくクラブ」これも会員数は20名以上必要ですが、これはクラブの形態そのものよりもクラブの活動目的が特化している、活動目的ありきで集まってできるクラブです。例えば青少年奉仕だけしますよとか、教育関係の奉仕活動だけしますよとか、医療関係の奉仕活動だけ、医療サービス関係の奉仕活動というように目的を明確にしたクラブの事です。7番目が「学友中心のクラブ」学友中心のクラブというのはロータリーや財団のプログラムに参加した経験のある人達を中心になって作るクラブです。つまり交換留学生の経験者とか財団奨学生の経験者が中心となって作るクラブで、すでに関東とか大都市圏でいくつかできています。最後が「ローターアクトクラブ」です。ローターアクトクラブは1人からでも作ることが出来ます。そして低コストでロータリー活動に参加することが出来ます。2022年7月1日からローターアクトクラブの会員にも人頭分担当が発生しますが仕事を持っている人が8ドル、仕事を持っていない人が5ドルということになります。ローターアクトクラブとロータリークラブと何が違うのかと言いますと、人頭分担当69ドルをお支払いいただいている皆様会員は、おひとりおひとりの名前が国際ロータリーのデータベースに登録されて、寄付額とかその他ロータリーの記録がずっと残ります。しかしローターアクトは個人名ではロータリーのデータベースに登録されません。皆様ロータリアンは1人1票国際ロータリーに対する投票権をお持ちになっています。しかしローターアクトは国際ロータリーに対する投票権を持っていません。この2点が大きな違いになります。ローターアクトクラブは先程ホルガー・クナーク会長がおっしゃったように、若い人にロータリーの世界を経験してもらうためには非常に作りやすい、参加しやすいものだというように思いますが衛星クラブはどうでしょう。衛星クラブを作ることは皆様のクラブにとってメリットがあるでしょうか。衛星クラブ

は8人からできます、そして衛星クラブの会員数は親クラブの会員数としてカウントされます。要は皆様が衛星クラブを一つお持ちになると会員数は今日で35人ですから43人になるわけです。もう一つ衛星クラブのメリットは69ドルの人頭分担当金は支払わなければいけません地区資金、衛星クラブ会員の地区分担当金については地区で自由に決めて良いことになっています。例えば皆様から年間25,000円いただいている地区分担当金を衛星クラブの会員は12,500円と設定すると衛星クラブの会員が負担するコストというのは69ドルのR Iの人頭分担当金と12,500円の地区分担当金、そしてロータリーの友の購読料ともろもろの協力金、日本円にして年間約30,000円でロータリー活動に参加できることになります。8人の会員ですからこんな立派な会場を借りてお食事をしながら例会をしなくても大丈夫です。自宅を回るとかお互いの会社の事務所を回るとか、もともとのロータリーの原点のような小さなコミュニティだからこそできる例会ができるのではないのでしょうか。ズームでやってもいいでしょうし、もし農家だけが8人集まった衛星クラブであれば現場の作業小屋でやってもよいのではと私は考えます。ではどういった人を集めたらいいのかと言いますと先程ホルガー・クナーク会長がおっしゃった「ロータリーは価値観を共有する人たちの集まりです。」皆さんの、八戸南クラブの共有する価値観、クラブの雰囲気というのは今まで長年かけて皆様方が醸成されてきたものがあります。ならば衛星クラブの会員はどうすればいいか、最初から価値観を共有できそうな人、同じ趣味を持つ人、同じ職業を持つ人、そう言った人たち、同じ環境にある人達に集ってもらい、先ず8人のコミュニティを作る、そこで人生の相談とかをしながらたまに親クラブとしてロータリーの事を教えて頂いて、ロータリー活動を独自もしくは親クラブと共にできるようにしていただきたい。そうすることによって先ほど申し上げた年間30,000円位の安いコストでロータリーの活動に参加できる、要はロータリーの参加基盤を広げることが出来るというようにホルガー・クナーク会長はおっしゃっています。ですから皆様は是非衛星クラブもしくはローターアクトクラブ、又は8つの分類の組み合わせで、例えばスマホのズームだけで例会をする衛星クラブであってもいいわけです。親クラブのどなたかがズームで例会に参加してあげてロータリーの事を教えてあげる、そういった事も極端な話できるわけです。法人の中で作る、従業員さんが50人位いる会社だったら8人位集まって衛星クラブ作れないでしょうか、そういった組み合わせも含めて衛星クラブ、ローターアクトクラブ、是非ともロータリーへの参加基盤を広げるための方法としてお考えいただきたいと思っています。特に衛星クラブについては先ほども申し上げました通り親クラブの会員数としてカウントされます。看護師さんとか保育士さん、小さいお子さんを持ったお母さん、現場のニーズ、様々な奉仕のニーズに近い人たちから私たちが色々な情報を得ることが出来るので様々なメリットがあると思います。ぜひともご検討いただきたいと思っています。

二つ目のお願いです、「すべてのクラブは毎年、少なくとも 1 回の戦略会議を開き、皆様には次の事を会員に問いかけて頂きます。『わたしたちのクラブは 5 年後にどのようなクラブになっているべきか、また、このビジョンを達成するためにどのようなステップを踏むべきか』『私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることが出来るか』この会議を進行する人を選んでください。」ここ数年国際ロータリーでは戦略計画、戦略計画という言葉が飛び交いました。こちらでも戦略計画委員会を作っていたいていますが、ホルガー・クナーク会長が言っているのは戦略計画も大切ですが戦略会議を開いていただきたいということです。1 年に 1 回クラブで戦略会議を開いていただきたい、言葉は面倒ですが簡単なことです。5 年後皆さんのクラブはどうありたいのか、どうあったらいいのでしょうか、皆さんのクラブが 5 年後どういうクラブであったら会員はいろんな価値を得ることが出来るのでしょうか、皆さんのクラブが 5 年後どんなクラブだったら地域の評価を得ることが出来るのでしょうか、そういった 5 年後の理想のクラブ像を話し合う時間を 1 年に 1 回、1 時間でも、1 時間半でも作っていただきたいということです。お酒を飲みながらでも結構です。RLI という研修があります。RLI のように短い言葉で、いくつかのテーマで話し合っ短い言葉で皆さんが発言する、そして人の意見を聞いて自分のインスピレーションを働かせ、新しい気づきを得て、また次の言葉を言うというようなことをやっていただきたい。そして、将来の皆様にとって望ましい有益なロータリークラブ像を共有していただきたいということです。それがおぼろげにでも見えたらそれを達成するために、何を、いつまでに、どのようにしなければいけないかという戦略計画が立てられるわけです。皆さんの理想となるクラブ像を思い浮かべ、そしてそれを是非言葉にして話し合っいただきたいということです。もし、この会議を進行する人がおいでにならない場合は地区の RLI 委員会からディスカッションリーダーを派遣しますのでご遠慮なくお申し付けください。

3 番目になります「新会員を注意して選びましょう。新会員にとって皆様のクラブがぴったりと合うこと、そして新会員の期待に応えるクラブである事を確認しましょう。新会員の面倒をみて積極的な参加を促してください。ロータリアンとなるのに不相応な年齢などありません。」ホルガー・クナーク会長、先ほどのスピーチでもそうですし、ロータリーの参加基盤を広げましょうとおっしゃっていますが、会員増強について消極的なわけではありません。新会員を注意して選んで、皆さんのクラブにぴったり合う人を大切に育ててくださいということです。これは何かといいますと、これまでロータリーはいくつかの失敗をしてきました、会員増強において失敗してきました。その一つが数のために増強したということです。高い数値目標を掲げて数を達成するために、数のために人を一生懸命勧誘した。その結果何が起きたかという、1、2 年で辞めていきました。やめていった何が起こったかという、やめた人はやめた理由を自分が悪くてやめましたとおっしゃい

ません。「最初に聞いた話と違う」「行ったら楽しくなかった」「嫌な親父ばかりだった」クラブのネガティブキャンペーンをやっているのと一緒です。そういうことではなくて、最初から皆さんの共有する価値観やクラブの雰囲気を理解してくれそうな人たちをちゃんと選びましょう、そしてその人を大切に育てて積極的な参加を促しましょうということをおっしゃっています。そしてまた、そういった方々が 20 代であろうが 30 代であろうが 60 代であろうが 70 代であろうが良いではありませんか、ロータリーに入会するのに不相応な年齢はありませんので、皆様のクラブに合う方を是非選んで勧誘していただきたいということでもあります。

最後のお願いになります「ポリオ撲滅のための寄付を行い、10 月の世界ポリオデーに合わせた行事、イベントを開催し、これからも根絶活動の支援を継続していきましょう。私たちは、世界の子供達と交わした約束を守らなければなりません。」10 月 24 日は世界ポリオデーです。その日に何かイベントをしていただきたいということです。ロータリーは 30 年以上にわたってポリオ根絶のために努力を続けてまいりました。皆さんご存知の通りポリオ常在国はアフガニスタンとパキスタンの 2 カ国になりました。私たちはこれを世界から根絶するために努力を継続するのだという事を認識するためにも、確認するためにも、そしてまた、それを広報するでも良い募金活動をするでも結構です。何かクラブで 1 つポリオデーの前後にイベントを行っていただきたいということです。例えばポリオ例会でも結構です、マイロータリーからポリオ関連のニュースとか情報を取り出していただいて皆さんで見、最後に出席者全員でポリオプラスに募金をするということでも結構です。外へ出て PR 活動をしていただいても結構です。地区はポリオ対策委員会でポリオデー PR 用のポケットティッシュを 2,500 個用意してサンプルはもう各クラブに送っているはずで、先着順で申し訳ありませんがご用意いただければ無料で何個でもお送りします。ポリオ対策委員長は 2,500 個のほかにあと 1,500 個くらい作る予算はあると言っておりますので、どうぞご利用いただけるのでしたらガバナー事務所にご連絡いただければお送りいたします。

世界中で最近あった事例で言いますと最も成功したのはカナダの事例でありまして、カナダのあるロータリークラブが真っ赤なポンチョ、真っ赤なビニール袋から頭を出すところと両腕を出すところに穴をあけるとポンチョになるのですけれど、そのポンチョを 2,000 枚作って 1 枚 10 ドルで販売したそうです。1 枚 10 ドルで販売して 2,000 枚を 20,000 ドルで売りました。何をしたかという、ある休日にその 2,000 枚を買っていただいた方々に集まっていたいて町中を 1 時間ただ行進していただいたそうです。真っ赤なポンチョ、色だけでも大変ですが前と後ろに「END POLIO NOW」と書かれたビニールのポンチョを着た人たちが 2,000 人 1 時間行進しますと何が起こるかという人が集まってきます、新聞社が来ます、テレビ局が来ます、これで広報と公共イメージ向上という二つの目的が達成されました。更に集めた 20,000 ドルのうち 10,000 ドルをポリオプラスに

寄付して、残りの 10,000 ドルはポンチョの制作費や人件費、そして当日行進してくれた人のサポート、お水とかおやつに使って、結局 10,000 ドルの寄付と公共イメージ向上と広報が達成できたという例があります。そこまで大きくなくて良いので、私たちがまだポリオ根絶活動に取り組んでいくんだという意思を確認するためにも、クラブの例会でも結構です、小さなイベントでも結構です、何か 1 つクラブでご検討いただきたいというのがホルガー・クナーク会長のお願いです、以上 4 つの強調事項につきましてご説明を申し上げました。

最後になりますが来年の 4 月 17 日、18 日の二日間にわたりまして八戸市において地区大会を開催する計画であります。新型コロナウイルスの感染状況においては中止になるかもしれませんが、もし、実現の折には 1 人でも多くの方においでいただき、共にロータリーを分かち合いたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。まだまだ年度が始まったばかりで、未熟で拙い私ですが、1 年間皆さんと共に努力したいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

《お礼の言葉》 松田会長

源新ガバナーどうもありがとうございました、今まで思っていたロータリーと違って良いところはどんどん取り入れていく、コロナの後には日本も世界も変わっていく、いろんなものが変わる時期に来ていると感じています。大変良いお話を聞いて、又、自信をもってやっていきたいと思っています。本日はどうもありがとうございました。



源新ガバナーありがとうございました